

平成26年まちづくり委員会

委員会資料

陳情第147号

住居環境と地域環境の立場に立った創価学会文化会館建設計画
の見直しを求める陳情

目次

● 建築計画の計画概要	1
● 川崎市建築行為及び開発行為に関する総合調整条例の手続きの経過 ..	2
● 案内図	3
● 配置図	4
● 平面図	5
● 立面図	6
● 等時間日影図	7
● 造成計画平面図	8
● 造成計画断面図（1）	9
● 造成計画断面図（2）	10
● 東側擁壁断面図	11
● 陳情に対する事業者の見解	12

「創価学会麻生文化会館新築工事」

建 築 計 画 の 計 画 概 要

- 1 事業 者 住所 東京都新宿区信濃町 32 番地
氏名 創価学会
代表役員 正木 正明
- 2 設 計 者 住所 東京都新宿区愛住町 8 番地 8
氏名 株式会社 創造社
鈴木 一三
- 3 工事施工者 住所 横浜市西区みなとみらい 3-6-3
氏名 大成・ピーエス三菱建設共同企業体
代表者 大成建設株式会社横浜支店
常務執行役員支店長 近内 滋
- 4 事業計画の名称 創価学会麻生文化会館新築工事
- 5 建設地の地名・地番 川崎市麻生区東百合丘四丁目 16 番 9
- 6 地域地区等

用 途 地 域	第一種中高層住居専用地域
防 火 指 定	準防火地域
高 度 地 区	第二種高度地区（最高高さ 15 m）
指 定 建 ぺ い 率	60%
指 定 容 積 率	200%
日 影 規 制	3 h / 2 h ・ 4 m

- 7 建築物の用途 礼拝所
- 8 構造及び階数 鉄筋コンクリート造 地上 3 階
- 9 敷地面積 4, 200. 68 m²
- 10 建築面積 772. 03 m²
- 11 延べ面積 1, 706. 94 m²
- 12 建築物の高さ 13. 85 m
- 13 駐車場 63 台
- 14 駐輪場 55 台
- 15 予定工期 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 25 日

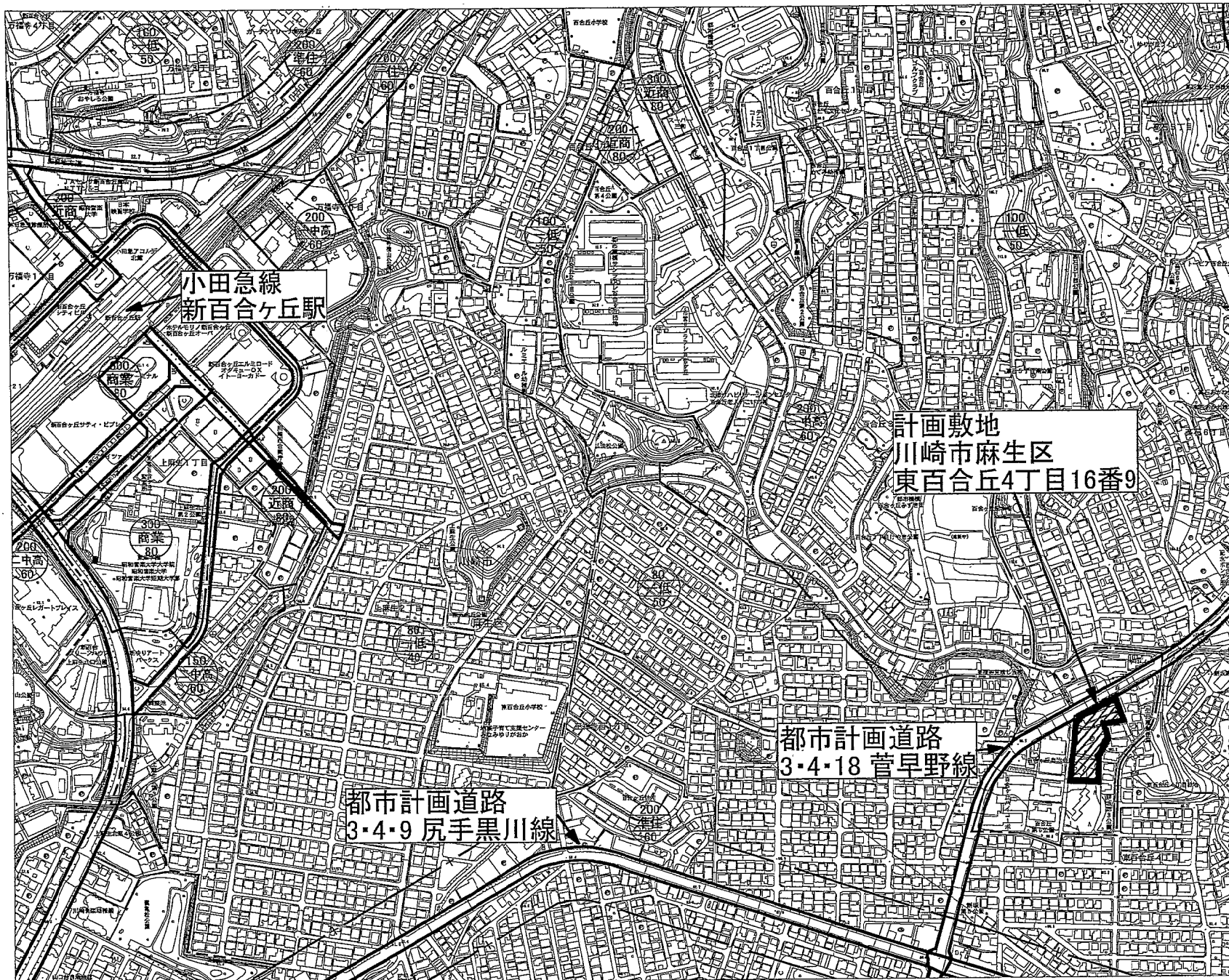
創価学会麻生文化会館新築工事

「川崎市建築行為及び開発行為に関する総合調整条例」の手続き等の経過

平成25年10月 1日	事業者からの事前届出書 受理
10月 7日	事業者からの事業概要書 受理
10月10日	事業者が標識を設置
10月16日	事業者からの標識設置届 受理
10月22日	住民説明会（近隣関係住民 10名）
10月26日	住民説明会（近隣関係住民 3名）
11月 2日	住民説明会（近隣関係住民 19名）
10月26日～11月 4日	近隣関係住民から事業者へ要望書提出（23通）
11月19日	事業者が要望書に対する見解書を近隣関係住民に郵送
11月20日	事業者からの説明報告書 受理
11月28日～12月 3日	近隣関係住民から市長への意見書 受理（19通）
12月 5日	事業者から公共施設管理者との協議書 受理
	事業者へ近隣関係住民から提出された意見書を送付
平成26年 1月 7日	事業者から意見書に対する見解書 受理
	事業者が意見書に対する見解書を近隣関係住民に郵送
1月 8日	事業者からの承認申請書 受理
1月14日	承認通知書 交付

今後の手続き

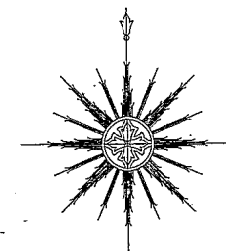
	都市計画法に基づく開発許可申請
	建築基準法に基づく建築確認申請



陳情 第147号

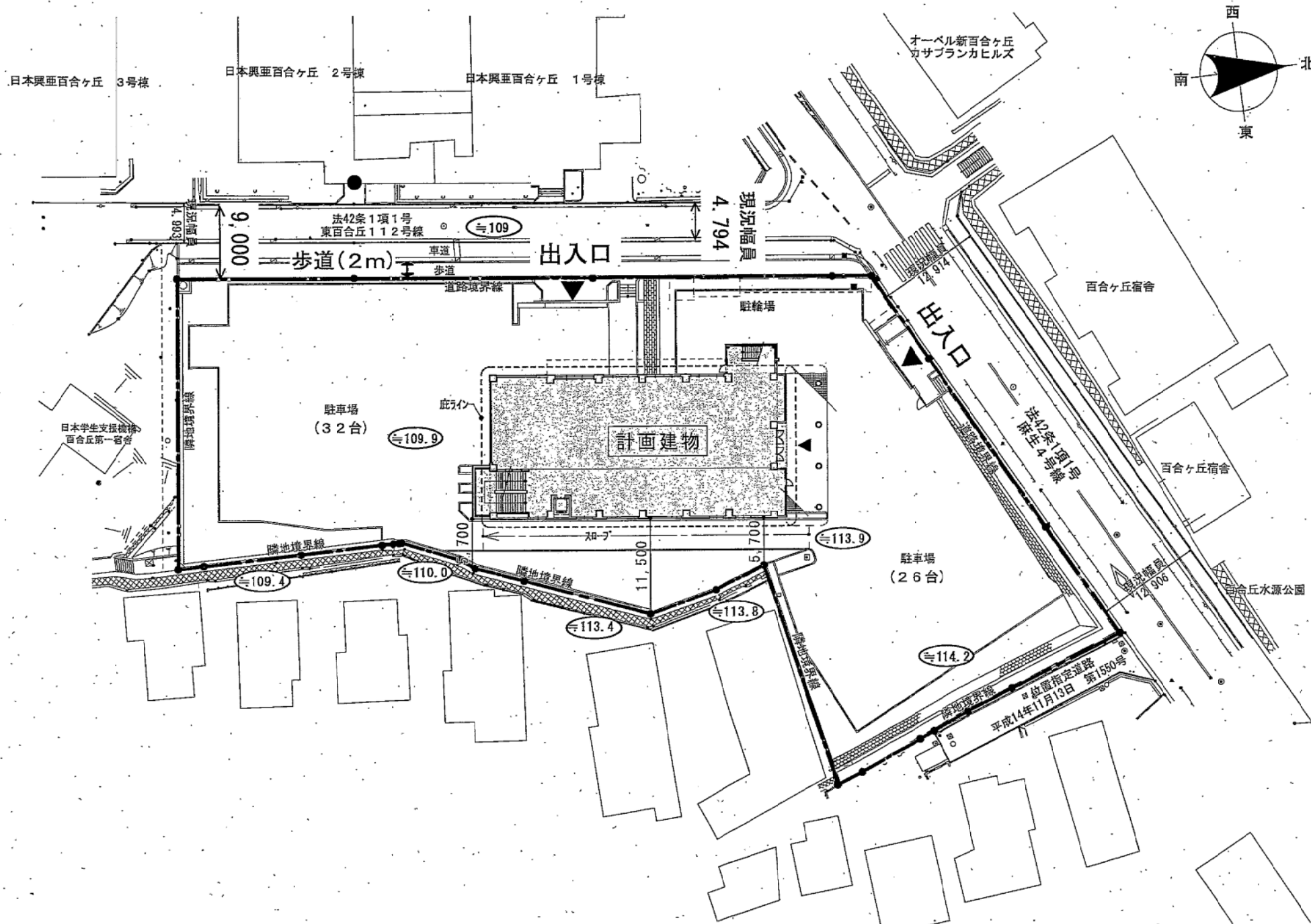
住居環境と地域環境
の立場に立った創価
学会文化会館建設計画
の見直しを求める陳情

案内図

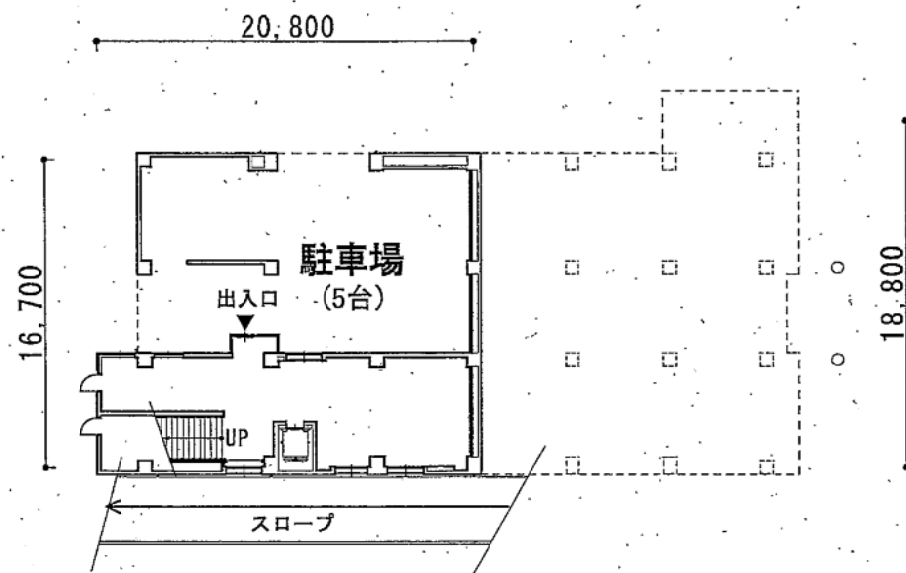


S=1:5,000

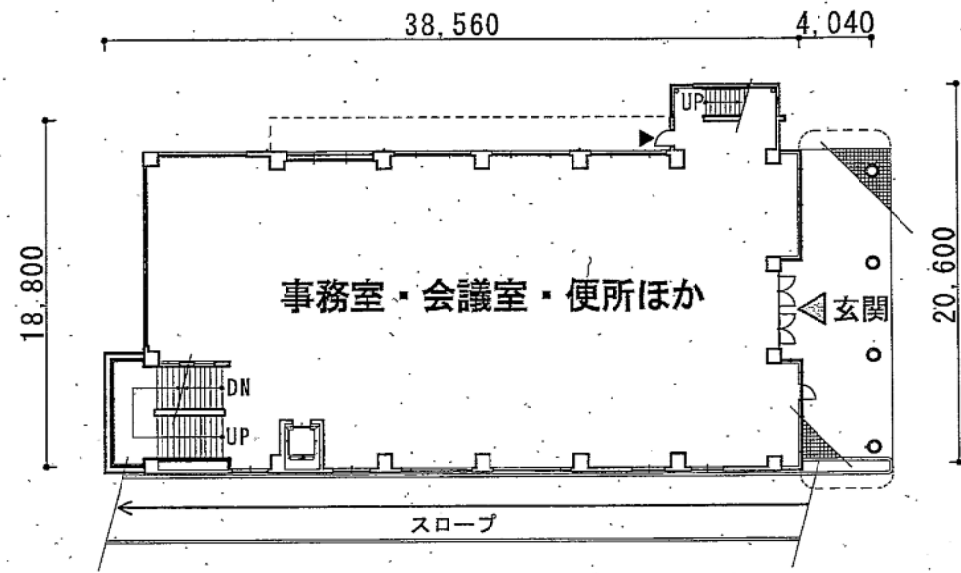
0 50 100 200m



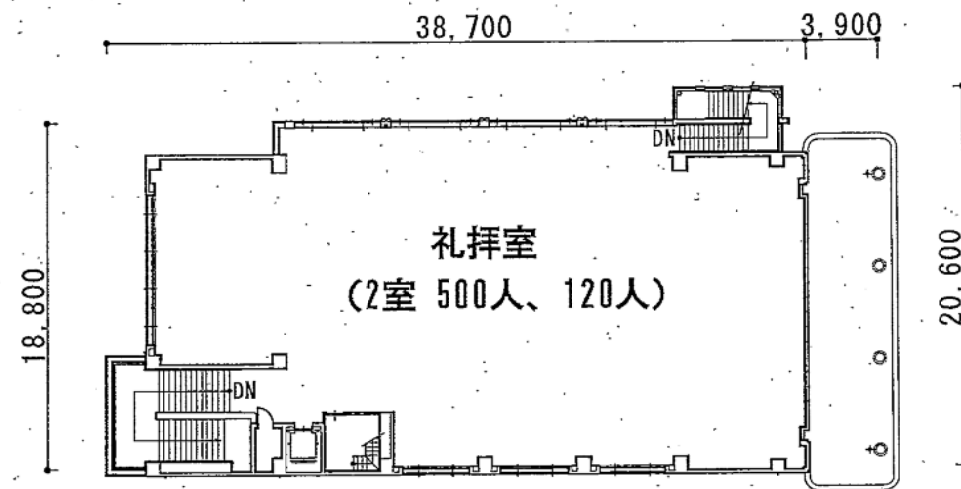
麻生文化会館新築工事 配置図



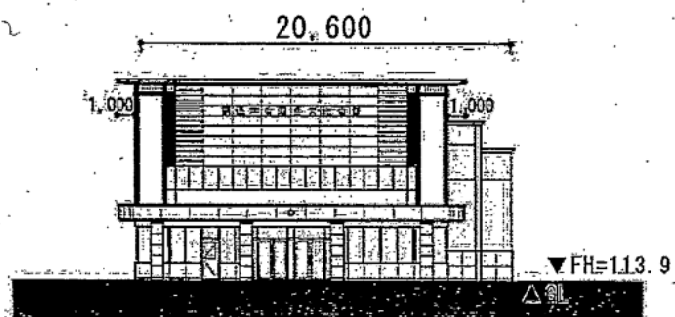
1階平面図



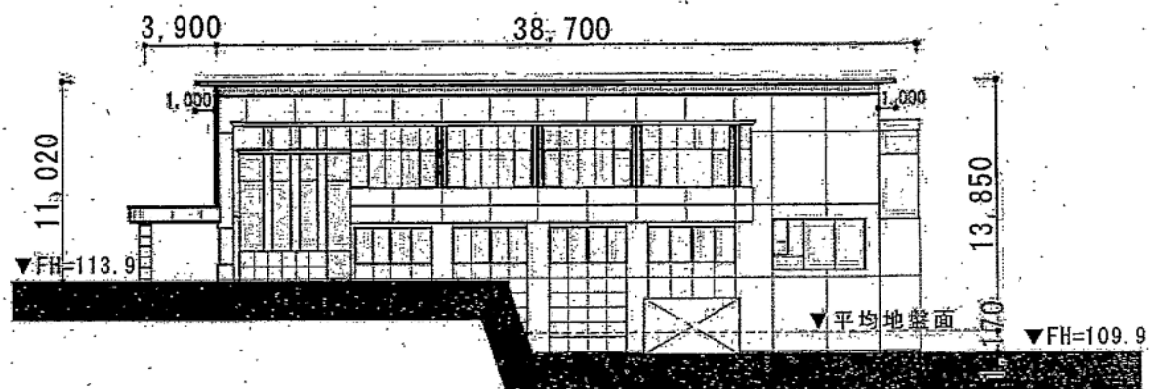
2階平面図



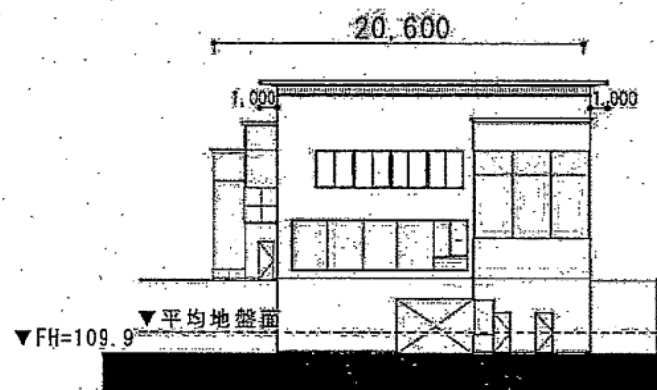
3階平面図



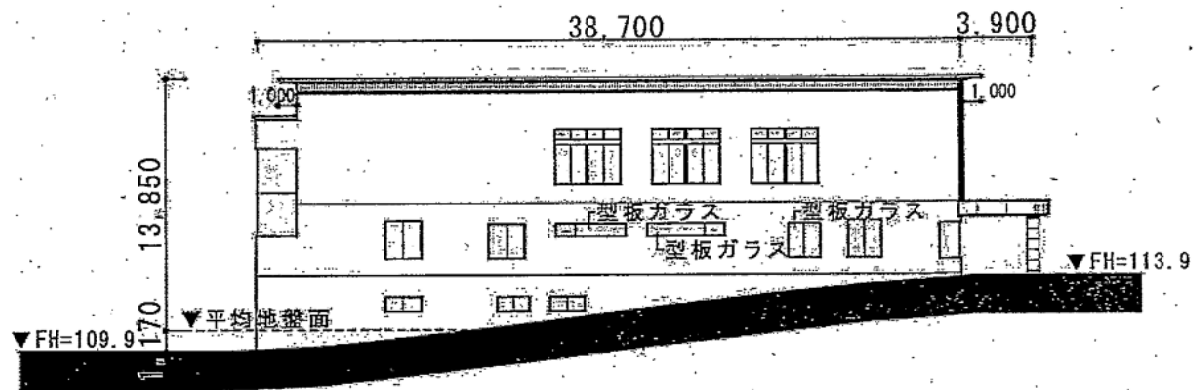
北立面図



西立面図

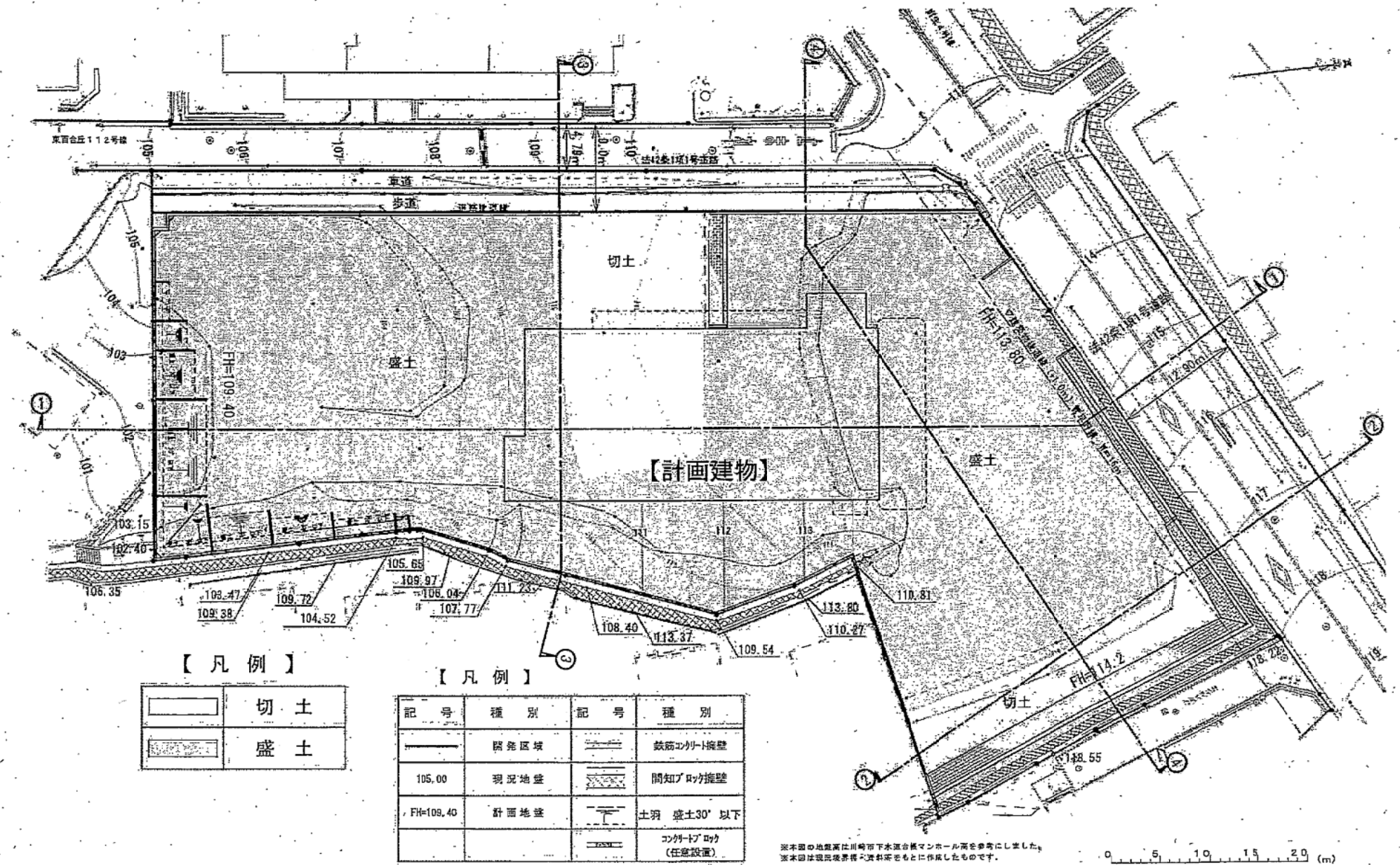


南立面図



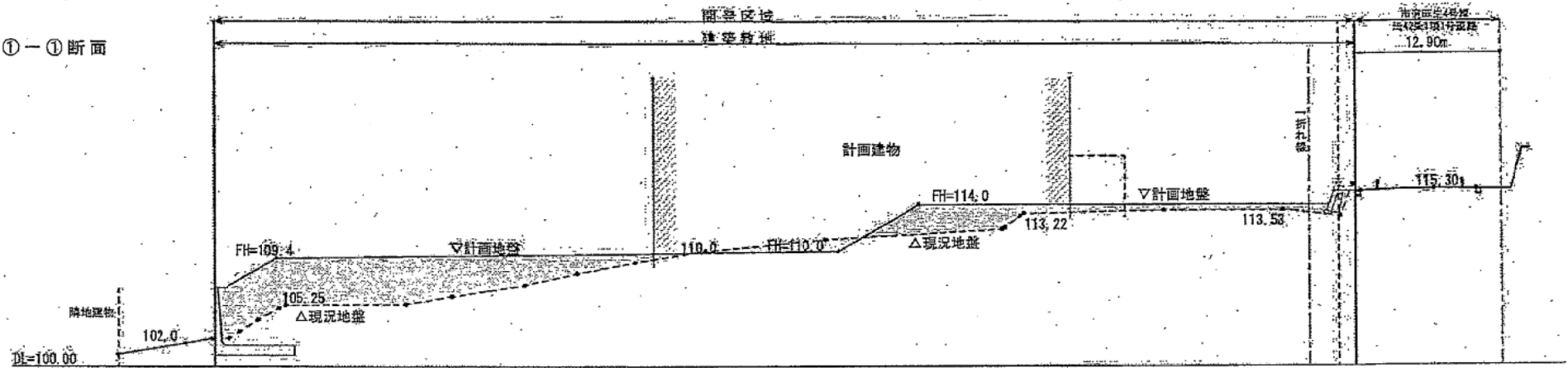
東立面図

※特記のない窓ガラスは透明ガラス

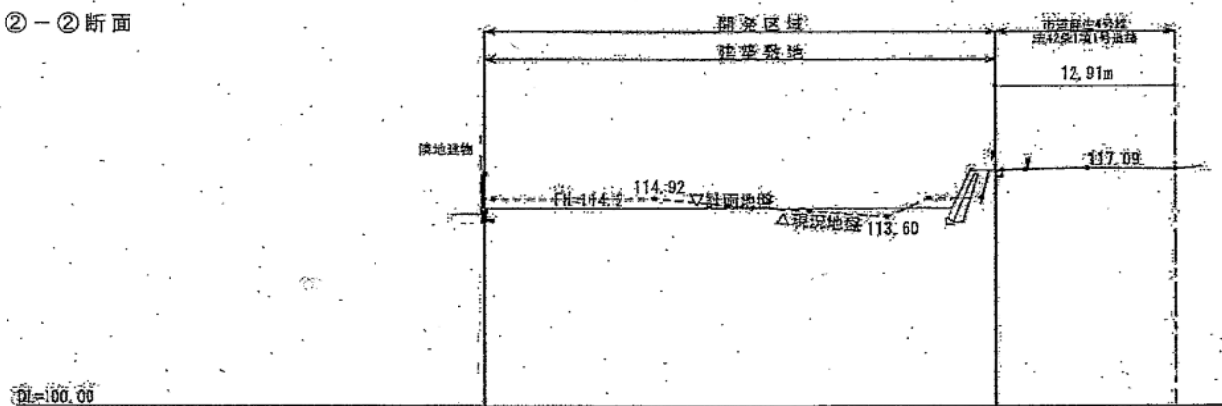


麻生文化会館新築工事 造成計画平面図

①-①断面



②-②断面



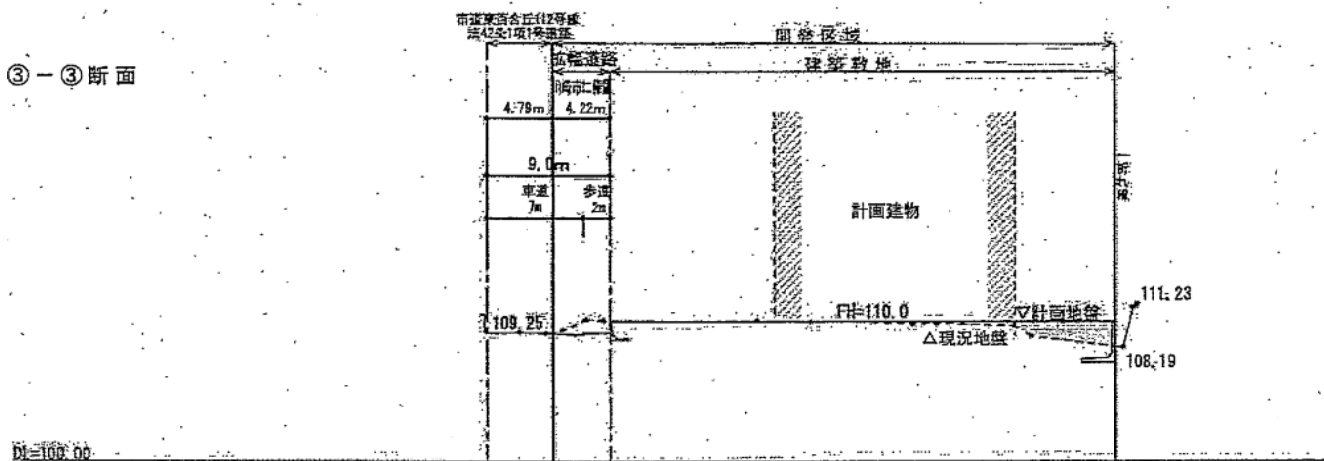
【凡例】

記号	種別
	開発区域
113.60	現況地盤
FH=114.0	計画地盤
	切土
	盛土

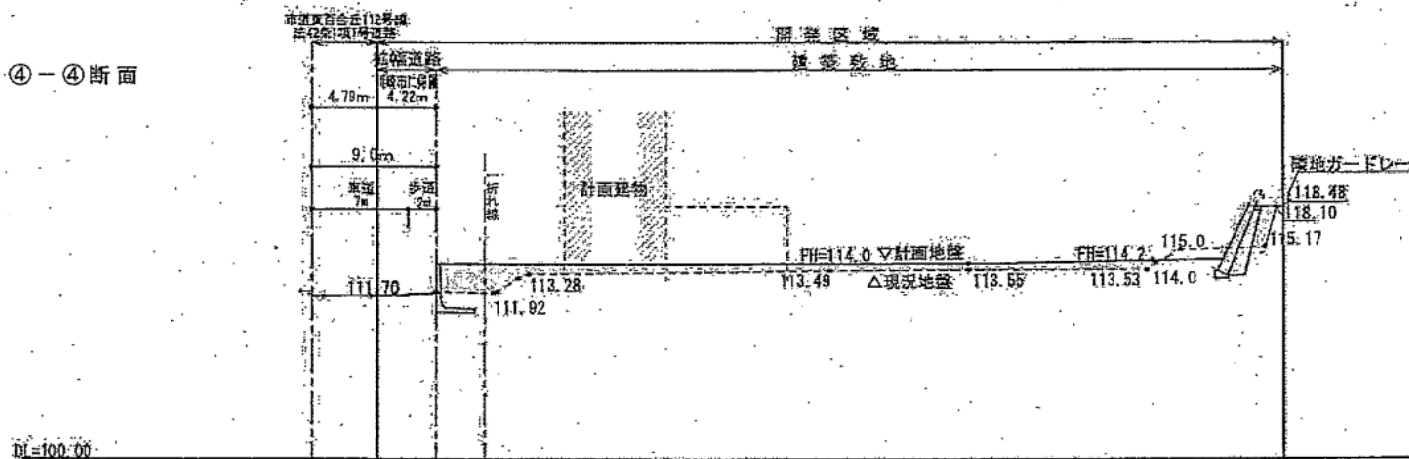
0 5 10 15 20 (m)

麻生文化会館新築工事 造成計画断面図 (1)

③-③断面



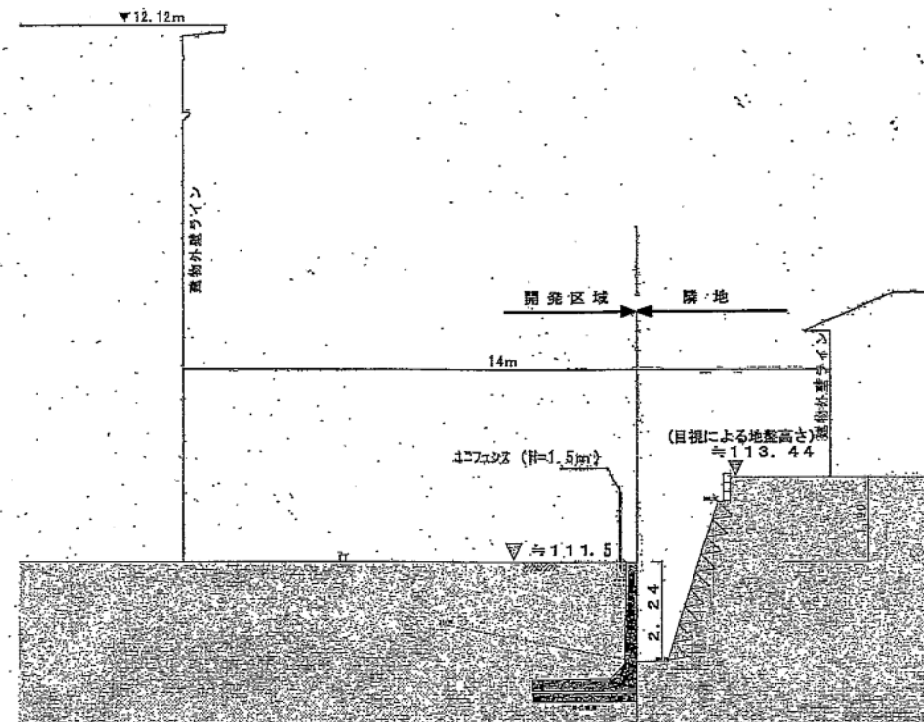
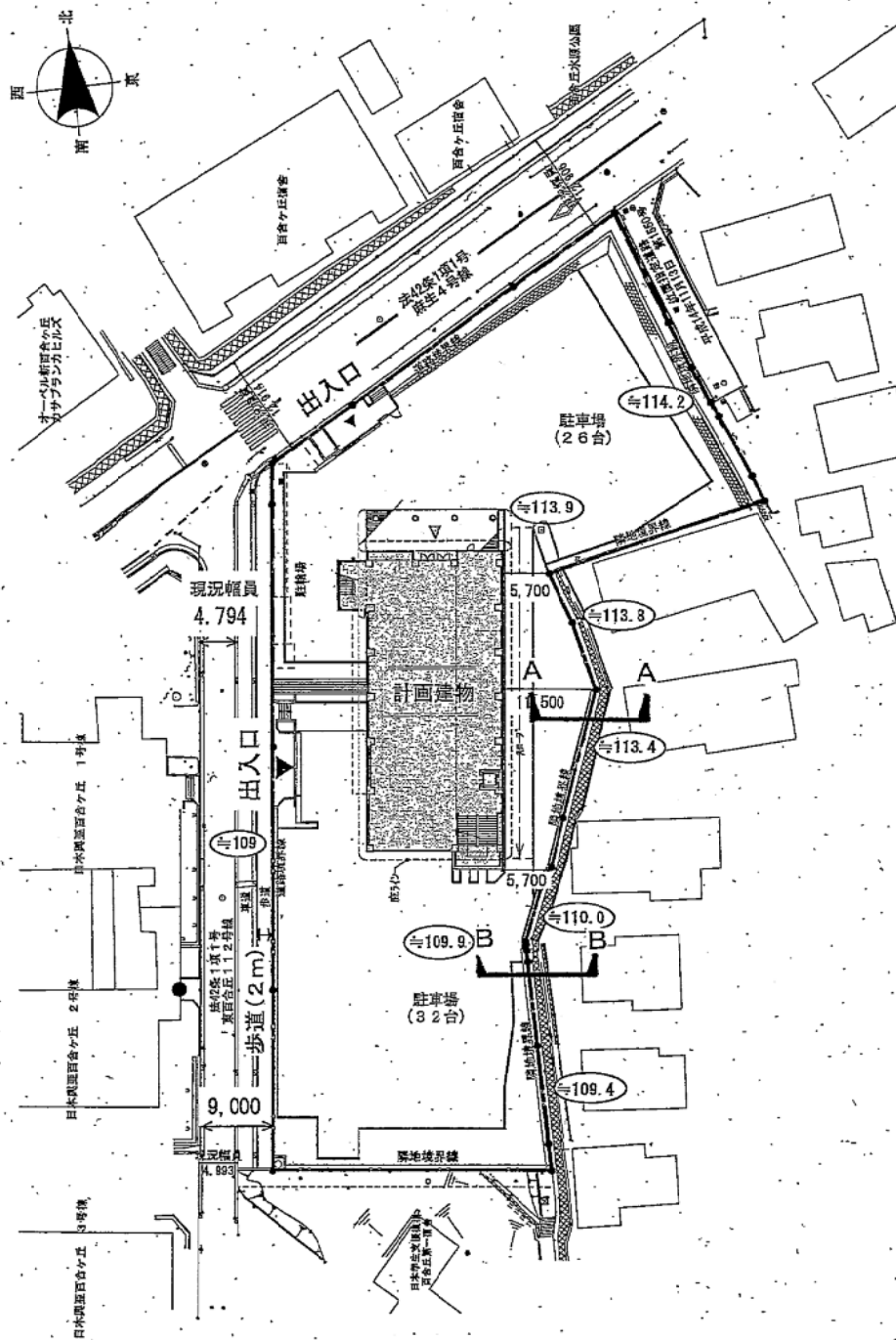
④-④断面



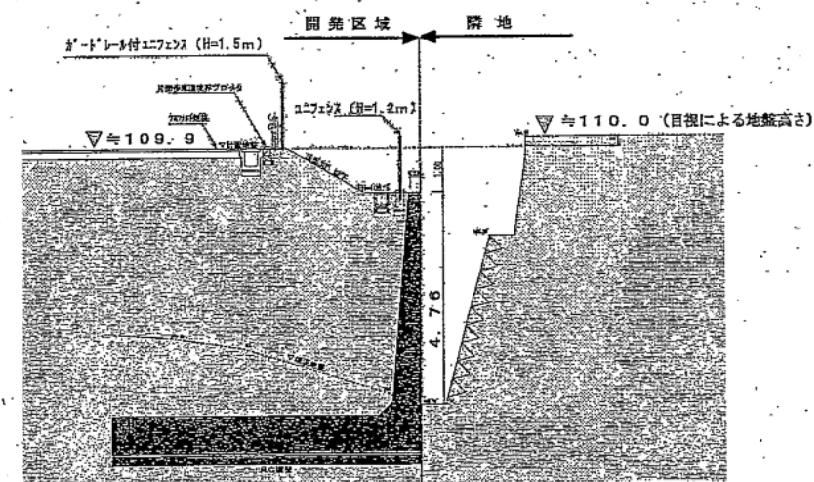
【 凡 例 】

記 号	種 別
——	開発区域
113.49	現況地盤
FH=114.0	計画地盤
——	切 土
——	盛 土

0 5 10 15 20 (m)



東側擁壁断面図 A-A



東側擁壁断面図 B-B

陳情に対する事業者の見解

陳情の内容	事業者の見解
1 集会の度に各地から押し寄せるであろう月数万人の信者による交通問題（道路の渋滞、排気ガス、住宅地の中の違法駐車、夜間の自動車のエンジン音、バスの混雑）などが懸念されます。	1 会員の車でアクセスルートについては、会員の居住地に応じてルートを限定するなど、特定の道路に集中しないよう対応をしております。また、収容能力を超えないよう駐車券を発券し管理するとともに、車を利用できない会員については、公共交通機関の利用を促します。開館後の運営につきましては、課題があれば検討し、ご近隣にご迷惑をかけないよう改善しております。
2 特に路線バスにおいては、起伏の激しい地形であることから、地域居住者及び通学、通勤者の主な交通手段となっています。大きな集会の際の発着駅（新百合ヶ丘、百合ヶ丘）から近隣バス停（三井第一住宅、団地坂上）はもとより、全てのバス停において混雑や乗り切れない状態が発生し、病院への通院や日常の買い物等移動の手段が奪われます。	2 現在のバス利用状況を小田急バス㈱に確認したところ、朝、駅に向かう時間帯を除き、最も混雑する路線は、新百合ヶ丘駅及び百合ヶ丘駅発、聖マリアンナ病院行である。路線上に学校があることもあり、病院に行く方と学生で混雑するが、ピークは午前9時までであり、創価学会の会合利用時間帯とは重複しない。1時間当たり、便が少ない昼間の時間帯でも2路線で5～6便ある。乗車人数は、新百合ヶ丘駅発で20～30人、百合ヶ丘駅で10～20人であり、十分な輸送能力があるとのことでしたので、会合利用者により、一般バス利用者が乗れなくなるような事象は起こらないものと考えます。
3 隣接する住宅との間に高い擁壁とV字溝が建設され、住民に圧迫感を与えるだけでなく、大雨時の雨水処理に危険を来す計画です。	3 学会側擁壁をセットバックして通路スペースを確保する方法と溝を埋める方法があります。溝を埋めるには、隣接する皆様全員の施工同意が必要となります。同意をいただければ、皆様にご負担をかけることなく当方で施工させていただきたいと思っております。今後、隣接する皆様と図面により具体的に提案内容を説明させていただきながら、御意見をいただく場を設けさせていただきたいと考えております。
4 道路が小・中学校に通じる通学路であり、学童たちに与える交通安全上の危険が増加します。	4 川崎市教育委員会と協議したところ、事業区域は指定通学路には該当していませんでしたが、児童生徒の通学時間帯の安全確保に配慮するようにとのことでした。午前7時30分から8時30分の登校時間については、会合開催時間帯ではないので問題ないと思われます。午後2時から4時までの下校時間帯は、平日昼の会合解散時間帯に重なる場合がありますので、必要に応じて誘導員を配置するなど安全に配慮しております。